

### 成果検証報告書

#### 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 平成28年度

|                |   |              |                       |              |                       |         |
|----------------|---|--------------|-----------------------|--------------|-----------------------|---------|
| 市町村名           | 小鹿野町  |              |                       |              |                       |         |
| 提案事業名          | ミュージックパークと協働する観光資源イメージアップ事業   |              |                       |              |                       |         |
| 事業期間           | 平成26年度 ~ 平成26年度   |              |                       |              |                       |         |
| 成果指標           | (成果を検証する指標)<br>観光入込客数   |              |                       |              |                       |         |
|                | (成果検証の具体的な方法)<br>観光施設の入館者、来場者、登山客、札所巡りなどで小鹿野町を訪れる観光入込客数の把握により成果を検証するものです。 |              |                       |              |                       |         |
|                | (成果の目標値に対する実績)  |              |                       | 達成度          | A                     |         |
|                | 従前値<br>(H24年1月~12月時点)   | 251,759      | 目標値<br>(H27年1月~12月時点) | 255,000      | 実績値<br>(H27年1月~12月時点) | 304,113 |
|                | (施設建設等の場合の実績)   |              |                       |              |                       |         |
|                | 年間利用者数<br>(人)   | (目標)<br>(実績) | 稼働率<br>(%)            | (目標)<br>(実績) |                       |         |
| 住民への公表状況及び特記事項 |   |              |                       |              |                       |         |

#### 【事業効果の整理・原因分析】

平成26年度 構成事業

| 構成事業名                     | 事業効果 | 事業効果の概要及び原因分析  |
|---------------------------|------|--|
| ① 秩父ミュージックパーク・スカイトレイン整備事業 | ○    | 秩父ミュージックパークを南北に往復運行するスカイトレインの整備を行ったことで、家族連れや高齢者等の観光客を中心に”準二次的交通”手段として大きな役割を果たしたとともに、ミュージックパークのシンボルの1つとして公園内を明るく彩り、ミュージックパークはもちろんのこと、小鹿野町・秩父地域のイメージアップによって観光来訪者が増加した。 |
| ② 小鹿野来訪者おもてなし整備事業         | ○    | 既存の観光・公衆トイレを利便性高く、機能・外観面も充実したものとする改修を行ったことで、新設に比べ短い工期で観光客への影響を小さくし、また、低コストでの整備を行うことができた。<br>地域住民はもとより、観光目的で来町する女性や高齢者にも快適に観光ができる環境整備が実施できたことにより、観光来訪者の増加に寄与した。       |
| ③                         |      |  |

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| <p>実施事業について<br/>十分に成果が認められた点</p> | <p>・秩父ミュージックパークのシンボルの1つであるスカイトレインの整備により、秩父ミュージックパークに華やかさを沿え、イメージアップにつながったとともに、広大な園内において子どもや高齢者等の移動手段として活用された。<br/>・既存の観光・公衆トイレを利便性高く、機能・外観面も充実したものとする改修を行ったことで、観光客の利便性と衛生面の向上を図ることができた。また、新設に比べ短い工期で観光客への影響を小さくするとともに、低コストでの整備を行うことができた。</p> |
| <p>実施事業について<br/>成果が不十分である点</p>   |  |
| <p>成果検証を踏まえた<br/>今後の改善策</p>      | <p>小鹿野町のホームページや様々なPR活動によってさらに効果的に観光情報や小鹿野町の魅力を発信する。また、新たな観光資源の掘り起こしや観光エリアやジオパーク関連施設、食などを連携させた事業展開等に努めていくものである。整備したトイレの維持管理を適正に行うとともに観光地等の環境美化にも配慮し、観光来訪者に心地のいい環境の提供に努めていく。</p>   |

(記入上の注意)

## 【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

$$\text{実績値} \geq (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合

$$(\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値} \leq \text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 80\% + \text{従前値}$$

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合

$$\text{実績値} < (\text{目標値} - \text{従前値}) \times 60\% + \text{従前値}$$

## 【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(O・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果O」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない